


県大会決勝戦 戦 評 用 紙

(記録抄用)

大会名	平成29年度 日硝ハイウエー杯・第9回三重県ヤングクラブバレーボール選手権大会(兼)第20回全国ヤングクラブバレーボールクラブ男女優勝大会三重県予選大会 U-19 女子 (女子6人制)			参加数	2
期 日	平成29年6月25日	会 場	鈴鹿高等学校 体育館		
戦 積	1位	SUZUKA	2位	保々MVC U19	
戦 評	<p> S U Z U K A 2 $\left(\begin{array}{c} 25-18 \\ 27-25 \end{array} \right)$ 0 保々MVC U19 </p> <p> 1セット目 SUZUKA のミスが目立ちリードを許す展開になるが、徐々に SUZUKA の高さ、セッターのコンビネーションが冴え、リードを詰める。保々のエースも食らいつくが徐々に差が付き始める。中盤保々のミスが目立ち差を広げられる。終盤、SUZUKA のエースの緩急のつけたスパイクに翻弄され SUZUKA が1セット目を取る。 </p> <p> 2セット目序盤は、両エースの打ち合いから始まったが、保々のセッターの多彩なトスワークに SUZUKA の選手が翻弄されリードを許す。さらに保々のサーブが冴え一気にリズムを掴み中盤までその流れのままゲームが進む。SUZUKA も中々リズムを掴む事が出来ず、終盤までリードを許すゲーム展開であった。SUZUKA の3番の高さのあるスパイクとブロックで一気にリズムを掴み始めた SUZUKA。その活躍もあり周りの選手も躍動し始めジュースに持ち込む。その流れのまま2セット目も SUZUKA が取る。 </p> <p> 1セット目 (SUZUKA) 17対14 (保々) の時に SUZUKA のサーブ順ミスが発覚。相手チームの指摘がありながら試合を進めた審判の過失を認め、ビデオカメラなどで審議した結果、サーブ順の打ちミスの反則を採用し、サーブ権も移行し、(SUZUKA) 17対15 (保々) で再開する事になった。気持ちが切れなかった SUZUKA がそのまま押し切り、結果25-18で勝利。よってセットカウント2-0で SUZUKA の優勝となった。 </p>				
			戦評者名 (北岡 和浩)		
備 考	1、各種別 男女毎に戦評をする 2、戦評は、250文字程度でまとめる 3、リーグ戦で決勝線のない大会は、大会全体の所感をまとめる				

三重県バレーボール協会